

埼玉佛教

令和6年10月 第240号

令和6年10月25日 発行
 No.240
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 倉持 秀裕
<http://saibutu.net>
 印刷所 関東図書株式会社



奉詠の様子（埼玉会館・令和6年9月9日〔月〕）

編集後記	8
事務局日誌	8
訃報	8
地区仏教会だより	7
・行田市・羽生市佛教会	7
2周年集会	7
・埼玉県部落差別解消推進条例	6
▽埼玉同宗連	6
・第40回佛教幼児画展	6
・第37回全国仏教保育埼玉大会	6
▽埼玉県佛教保育協会	6
トピックス	
・松伏町の紹介	4
・吉川市の紹介	4
▼第45回埼玉県佛教徒大会	2
讃佛歌奉詠大会	2
▼第74回埼玉県各流	

目次



第74回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会

◆令和6年9月9日(月)、埼玉会館・大ホールにおいて埼玉県各流讃佛歌奉詠大会が開催された。本大会は今年で第74回を迎える大会となった。参加者は379名、参加支部・講は別掲の通り。今年の記念品クリップの色は赤色。



法要

◆模範奉詠 (奉詠順)

◆真言宗智山派

・密厳流遍照講

指導師範 詠匠

藤村 眞琴 師

(栃木県宇都宮市)

曲目

『平和観音讃仰和讃1・3番』

◆浄土宗

・吉水流 詠唱 教司

蓮池 広尚 師

(群馬県前橋市)

曲目 『開宗和讃』

『冬の御詠歌』

◆曹洞宗

・梅花流 一級師範

牧野 義眞 師(狭山市)

曲目

『追善供養御和讃(1番)』

『追善供養御詠歌(妙鐘)』

◆賀儀(覧)(順不同)

ありがとうございました。

◆栃木県・光明寺

藤村眞琴 様

◆富士見市・大應寺

深谷雅良 様

◆川口市・密蔵院

山口正純 様

◆さいたま市・東泉寺

河野亮玄 様

◆鴻巣市・宝持寺

馬場知行 様

◆運営協力(順不同)

机・椅子のご提供、ありがとうございました。

◆遍照院 様(上尾市)

◆大應寺 様(富士見市)

◆守光院 様(さいたま市)

◆多福院 様(戸田市)



◆参加支部・講(一覽)(敬称略)

参加支部・講名〔流派・市町〕

紅組

埼玉第10、11教区寺庭婦人会

〔密厳流・飯能市〕

埼玉第9教区寺庭婦人会

〔密厳流・上里町〕

埼玉第12教区寺庭婦人会

〔密厳流・坂戸市〕

錫杖寺支部

〔密厳流・川口市〕

宝性院支部

〔密厳流・杉戸町〕

医王寺支部

〔密厳流・さいたま市〕

上尾遍照院支部

〔密厳流・上尾市〕

大應寺支部

〔密厳流・富士見市〕

密蔵院支部

〔密厳流・川口市〕

泉蔵院支部

〔密厳流・草加市〕

寶性寺支部

〔密厳流・さいたま市〕

埼玉第10教区連合会

〔密厳流・坂戸市〕

埼玉第8教区連合会

〔密厳流・熊谷市〕

白組

埼玉第5教区寺庭婦人会

〔密厳流・白岡市〕

埼玉第2教区寺庭婦人会

〔密厳流・蕨市〕

埼玉第1教区寺庭婦人会

〔密厳流・川口市〕

慈恩寺支部

〔密厳流・本庄市〕

寶幢寺支部

〔密厳流・志木市〕

圓心寺支部

〔吉水流・本庄市〕

三光院支部

〔密厳流・朝霞市〕

多福院支部

〔密厳流・戸田市〕

石上寺支部

〔密厳流・熊谷市〕

觀福寺支部

〔密厳流・白岡市〕

今泉山支部

〔密厳流・吉見町〕

蓮花院支部

〔密厳流・加須市〕

埼玉第2教区智山青年会

〔密厳流・富士見市〕

吉水講埼玉教区本部

〔吉水流・さいたま市〕

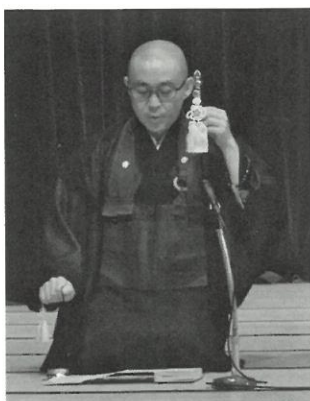
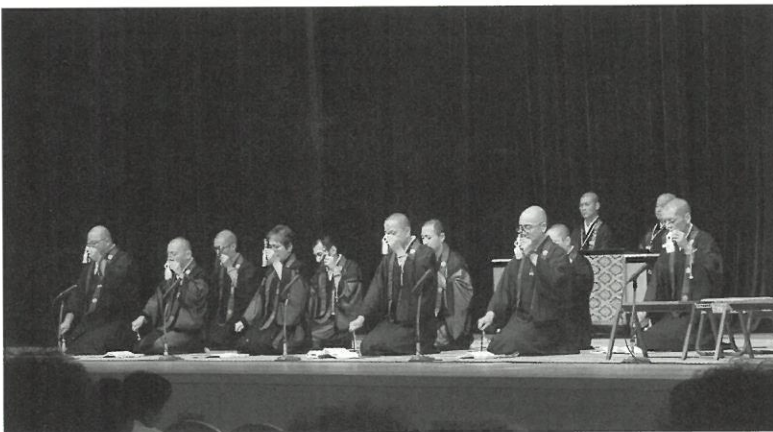
見学

清浄寺

〔密厳流・吉川市〕

大松院

〔密厳流・さいたま市〕



三宝御和讃詠唱 来馬司龍師



模範奉詠 牧野義眞師



模範奉詠 蓮池広尚師



模範奉詠 藤村眞琴師

第45回埼玉県佛教徒大会

吉川市の紹介

吉川市仏教会のある吉川市は、埼玉県南東部に位置し、ほぼ平坦な地形です。東は江戸川を挟み千葉県、西は中川を挟んで越谷市・草加市、南は三郷市、そして北は松伏町とそれぞれ境を接しています。昭和30年3月1日に旧吉川町・旭村・三輪野江村が合併して新吉川町となり、その後、昭和48年の国鉄(現JR東日本)武蔵野線の開通と吉川団地の建設を経て平成3年には人口5万人を超えました。そして平成8年に市制を施行し、「吉川市」がスタートしました。東京都心から約20km、1時間圏内のベッドタウンですが、川や田んぼに囲まれたスロースライフを送れることから、人口の流入も増加傾向にあり、平成24年武蔵野線吉川美南駅開業後、平成27年には人口7万人を超えました。中世以前から稲作地帯であり、

江戸時代になると天領になり、大消費地・江戸に近い生産地で中川の水運にも恵まれ、ますます稲作が盛んになりました。江戸川、中川という2つの川に挟まれた地形をいかした文化が育まれ、江戸時代初期には、川岸付近に川魚料理を売り物にした料亭が軒を連ね、「吉川に来て、なまず、うなぎ食わずなかれ」といわれるほどの名声があり、歴史上の著名人なども食しているといわれています。川は人々にとって、食や生活の憩いの場として身近な存在となり、川に親しんできた歴史・文化が、吉川が「なまずの里」といわれる所以となっています。

松伏町の紹介

松伏町仏教会のある松伏町は埼玉県南東部、北葛飾郡のやや南に位置し、首都圏30km圏内で、江戸川、中川、大落古利根川の3本の河川に囲まれ、田園風景が広がる豊かな自然環境に恵まれた文化都市です。昭和30年松伏領村及び金杉村の2カ村合体合併により、新たに松伏領村となり、昭和31年に松伏領村を松伏村に村名変更。昭和44年4月1日に町制施行し、「松伏町」がスタートしました。

町内にある県営まつぶし緑の丘公園は平成19年から指定管理者である松伏町によって管理され、里山、広場、水辺からなる原風景を創出し、樹木や野鳥、草花、昆虫などのふれあいを通じ、心も体も元気になる公園を目指し計画された県営公園です。公園では季節に合わせた様々なイベントが開催され、訪れる方々を楽しませてくれ、町民の憩いの場となっています。令和元年に誕生した公園のPR

吉川市イメージキャラクター
なまりん



キャラクター「みどりん」が人気、イベントを盛り上げてくれています。

今回、県佛大会の会場となる田園ホール・エローラ(松伏町中央公民館)は、1989年7月松伏町町制20周年を記念して建設されました。日本の代表的な作曲家である故芥川也寸志氏のプロデュースによって完成し、高度な音楽性を誇り、日本の代表的なホールとして高く評価されています。ご来場の際は、田園ホール・エローラの快適な音響空間で県佛大会をお楽しみください。



田園ホール・エローラ

第45回埼玉県佛教徒大会

大会テーマ 『めぐまれた 命を大切に』

【日 時】 令和6年11月29日(金)

開場12:30 ・開会13:00 ・閉会16:00(予定)

【会 場】 田園ホール・エローラ(松伏町中央公民館)

(松伏町ゆめみ野東3丁目14番6 電話 048-992-1321)

【内 容】 第1部 開会行事・記念法楽

第2部 記念演奏

豊山太鼓『千響』

第3部 記念講演

『ポストコロナを生きるために
今何をすべきか』

小林 弘幸 先生(順天堂大学教授・医学博士)

お問い合わせ先

(一財)埼玉県佛教会事務局

電話 048-861-2138 FAX 048-864-6649



主催 (一財)埼玉県佛教会

主管 吉川市仏教会 松伏町仏教会

後援 東部地区佛教会

トピックス

埼玉県佛教保育協会

「第37回全国仏教保育埼玉大会」

埼玉県佛教保育協会（丹羽義昭会長）は、令和6年7月25日（木）・26日（金）に「第37回全国仏教保育埼玉大会」（田中雪心実行委員長）を大宮ソニックス



テイで開催した。埼玉での開催は昭和61年の第19回大会以来となった。今年の夏も記録的な猛暑であったが、全国から多くの保育関係者が参集した。

大会のテーマは『「こころ・子ども・いのち」』。サブテーマは「子どもたちが輝く未来に向けて 仏教保育が果たす役割とは」。田中雪心実行委員長を中心に加盟園から実行委員を募り、約2年の準備期間を経て当日を迎えた。

大会1日目は大宮ソニックステイ小ホールで全体会が開催された。

川口市の伝統芸能「初午太鼓」の勇壮な太鼓で全体会のオープニングが飾られた。続いて開会式が行われた。普門院幼稚園の先生と園児による献灯献花がかわいらしくも立派に行われた。

続いて小澤憲珠大会会長（日本仏教保育協会名誉会長）の祝辞が代読され、田中大会実行委員長が歓迎のことばを述べた。

次に各賞の表彰が行われ、仏教保育奨励賞には、当会会長の

倉持秀裕師が選ばれ、賞状を受けとられた。

また、さいたま市子ども未来局の安部健一局長より清水勇人さいたま市長の祝辞が代読され、続いて全日本仏教会の佐藤義尚副会長より祝辞をいただいた。

来賓紹介、祝電披露、仏教保育三綱領の唱和、感謝状ならびに支部旗の贈呈、「仏教保育の歌」の斉唱へと続き、丹羽会長により「大会宣言」が読み上げられて開会式は終了となった。

引き続き同会場にて「記念講演」と「記念演奏」が行われた。

（内容は左記の通り）

□「下総統一の世界を音楽で奏でる」
ジャズシンガー下総佐代子さん
□「水晶の歌声・バンドウーラの可憐な響き」

ウクライナの歌姫・バンドウーラ奏者ナターシャ・グジーさん

開会式の後、パレスホテル大宮のローズルームにて懇親会が開催された。

田中雪心実行委員長から歓迎のことば、さいたま市出身の国会議員片山さつき氏も駆けつけ、祝辞を述べた。

余興は下総佐代子さんによるジャズセッション、津軽三味線ユニットの北村姉妹の三味線演奏、口笛奏者の柴田晶子さんの凛々しくすがすがしい口笛が懇親会に華を添えた。

埼玉県の特産品が当たる「抽選会」も大いに盛り上がった。最後は関東一本締めで締めくくられた。

大会2日目はソニックステイ会議室を中心に、分科会が開催された。10分科会を設け、様々なテーマに参加者も真剣に臨んでいた。

司会や記録、会場設営等埼玉県佛教保育協会加盟園の先生方で運営した。

「第40回埼玉県佛教幼児画展」

埼玉大会と同時開催で第40回埼玉県佛教幼児画展が大宮ソニックステイ第1展示場で開催され、12園から301枚の作品が展示された。

25日、26日も平日開催であったが、約750名の方々が登場された。

「埼玉同宗連」

埼玉県部落差別解消推進

条例2周年集会

令和6年8月27日(火)、埼玉県部落差別解消推進条例2周年「県条例を具体化するための意見交換会」がさいたま共済会館で行われた。当会からは大塚美紀主事が出席した。

開会の挨拶を「埼玉同宗連」議長の光栄澄人師が行った。埼玉県議会が部落差別解消条例を制定してから2周年を迎え、関係団体を取り組みを報告し、意見交換を行った。



地区仏教会だより

令和6年度

行田市・羽生市佛教会 合同研修会

行田市佛教会
羽生市佛教会

行田市佛教会は平成28年より羽生市佛教会と合同で研修に取り組み、今年で8年目となります。

今回の合同研修は行田市佛教会が主催し、羽生市佛教会が参加する形で9月8日(日曜日)に行田市小見の真観寺客殿を会場として開催しました。

今年には元旦に令和6年能登半島地震が発生しました。埼玉に住む我々にとって激甚災害発生時はボランティア活動に参加する事でしか現地の様子を直接知り得ません。発災直後は警察、消防や自衛隊などが最前線で人命救助やインフラの復旧に当たります。最前線の災害が発生した場所の状況や避難所設置の様子を知り、日頃の生活にかかすことが減災に繋がるのではない

かと考えて当研修を企画しました。

講師には防衛大学校建設環境工学科の別府万寿博教授に依頼しました。

別府教授は土木工学の中でも振動工学が専門です。平成7年に航空自衛隊から阪神淡路大震災で災害派遣の経験があり、その時のご経験を元に講話をいただきました。講話は災害時の自衛隊の即応体制の説明から指揮系統の問題点、御自身の阪神淡路大震災の現場で直面した困難など、多岐に渡りました。その中で印象に残った事柄が2つあります。

①行政も含め陸海空の自衛隊の指揮系統は統一されておらず、非常に混乱した。自衛隊の指揮系統は、本年度に統一予定である。

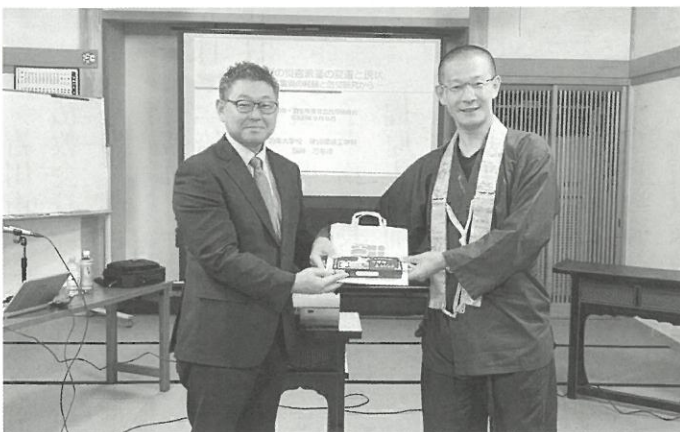
②川に懸かる橋は設計時に浮力の検討は無く、浮いた時の備えも無い。特に鋼鉄製の橋桁は水害時に意外にあつまり流出してしまう。

①は戦後日本が平穏であったため、東日本大震災が発災するまで指揮系統の不良について問題提起がなされなかったようです。②の橋桁の流出については、

広範囲な水害となった令和元年東日本台風まで、気付きがなかったようです。

気付かない事象は現実社会に反映されにくいものです。私は今回の研修で「発災時に行政に厚い期待を寄せても無理」「危険水位に達した川の増水時に、川の様子を橋から見るのも大変危険」という事を学びました。研修参加者それぞれに得た学びが実際の生活行動に反映されることを願って、研修の報告と致します。

(行田市佛教会会長 中村重継)





新年年賀名刺広告

について

令和7年1月初旬に発行予定の「埼玉佛教」新年号に年賀名刺広告を左記の通り募集いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

記

サイズ 43mm(横)×61mm(縦)
金額 一万円

申込方法 連絡先を明記の上、原稿をFAX【048(864)6649】又は郵送にて、事務局までお送りください。後ほど事務局から確認の連絡をいたします。過去の年賀名刺広告と同じ場合は、お電話でも承ります。
【発行後、掲載紙と振替用紙をお送り致します】
申込先

埼玉県佛教会事務局
〒330-0063
浦和区高砂4-13-18
☎048(861)2138

訃報

お悔やみ申し上げます。

令和6年 1月

1日 嵐山町千手院(曹洞)

浅見 真如 師(69歳)

8月

24日 杉戸町上原寺(日蓮)

仁部 前明 師(90歳)

9月

10日 久喜市東明寺(浄土)

龍田 章純 師(80歳)

14日 深谷市長福寺(浄土)

中村 信雄 師(75歳)

事務局日誌

令和6年 8月

13日 ▼夏季休暇

19日 ▼臨時教化委員会、奉詠大会打合せ会(埼玉会館)

27日 ▼埼玉県部落差別解消推進条例制定2周年意見交換会(さいたま共済会館)

大塚主事)

9月

2日 ▼第75回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会会場抽選会(埼玉会館)

2日 ▼「埼玉青」、浦和仏教会共催「梵字勉強会」

5日 ▼「埼玉青」写仏

8日 ▼第45回埼玉県佛教徒大会・吉川市仏教会、松伏町

仏教会打合せ(吉川・清浄寺/金子事務局長、大塚主事)

9日 ▼第74回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会(埼玉会館)

11日 ▼人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会第1回幹事会(埼玉人権・同和センター/金子事務局長)

18日 ▼人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会「部落探訪」削除裁判・第3回口頭弁論(さいたま地方裁判所/大塚主事)

10月

6日 ▼第45回埼玉県佛教徒大会

・吉川市仏教会、松伏町仏教会打合せ(吉川・清浄寺/深谷専務、金子事務局長、大塚主事)

9日 ▼「埼玉青」写仏

15日 ▼「埼玉同宗連」現地学習会(蕨市/河野常務、金子事務局長、永堀書記、福原主事補)

21日 ▼人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会第25回埼玉

県知事・県議会議長要請行動(知事公館ほか/金子事務局長)

23日 ▼「埼玉県宗教連盟」令和6年度研修旅行(横浜/東京・上智大学/24日/深谷専務、金子事務局長、大塚主事)

編集後記

とても長く感じた今年の夏、四季に猛暑が加わって、五季に変化しているなんて話を耳にした。10月に入り、ようやく季節の移ろいを感じられるようになった。埼玉の美しい秋の絶景を見に出かけたい。